

授業科目 社会福祉学特論 I (地域福祉特論)	科目概要・形式 2 単位 30 時間	配当年次 2 年 前期
科目責任者	大和田 猛	
担当者	大和田 猛	
1. 科目のねらい・目標 社会福祉領域の総括基本法である社会福祉法第 1 条及び第 4 条の規定にもとづき、主に社会福祉政策の視点から地域福祉の理論的、実践的体系を理解する。		
2. 授業計画・内容 1.2 回目 地域福祉の視点と位置づけ 3 回目 社会福祉政策の潮流—施設福祉 1 4 回目 社会福祉政策の潮流—施設福祉 2 5 回目 社会福祉政策の潮流—在宅福祉 1 6 回目 社会福祉政策の潮流—在宅福祉 2 7 回目 社会福祉政策の潮流—地域福祉 1 8 回目 社会福祉政策の潮流—地域福祉 2 9.10 回目 地域福祉の歴史 11.12 回目 地域福祉の理論 13-15 回目 地域福祉の現状と課題		
3. 教科書、参考書 学会誌の論文などを適宜、活用する。		
4. 成績評価方法 レポート(50%)、小論文(20%)、講義への参加態度・プレゼンテーション(30%)		
5. 受講要件 修士論文を地域福祉に関連性のあるテーマで構想している者		
6. 社会人学生に対する配慮 4 限目、5 限目に開講する		
7. その他 1. 社会福祉小六法を携帯する事 2. 修士論文の進捗状況を報告する		